

松尾山林道から唐櫃越 実施報告書

実施日：5月25日（日）

天候：曇り

参加者：7名 青木、園田、中原、檜崎、細田、園田、田中

行程：阪急嵐山線上桂駅 10:05→松尾山林道始点 10:30 小休止 10:40→6号橋 11:25
→*唐櫃越（尾根道）12:20→東ベンチ 12:40 弁当休憩 13:20
→唐櫃入口（墓地）14:00→上桂駅 14:20 *本日の最高地点で標高328m

前日は終日雨で当日の空模様が心配であったが、早朝に雨はやむという天気予報がでたので、実施することとした。

上桂駅から地蔵院（竹寺）前、苔寺山門前を經由して松尾山林道始点に至る。ここから右手斜面の山道は、京都トレイル松尾山への登り道である。松尾山林道は、ここから亀岡まで続く唐櫃越尾根と松尾山尾根の間の谷に、溪流と何度も交差しながら保津峡まで延びている。溪流との交差点にかかる橋には、恐らく地元のボランティアが付けたであろう呼称が1号橋から23号橋まであり、それぞれ小さな標識が立っている。

前日の降雨で、林道沿いの溪流は、これまで見たことがないほど大量の水が流れていた。林道始点からすぐに唐櫃越方向に行く経路の溪流にかかる丸太橋は流されており、このルートは使えない。

今回は「入門コース」として参加者を募ったが、実際にはいつもの常連メンバー7名の参加となった。メンバーで相談した結果、当初計画よりも若干長いコースを選択して、林道を歩き始めた。途中、西芳寺川古墳群のひとつに立ち寄り、6号橋から山中に分け入った。昨日の雨で、山道が濡れて滑りやすくなっており、また、山道沿いの小さな溪流も増水しており、3か所の小幅な渡渉も注意しながら登って行った。唐櫃越尾根の手前は、かなりの急坂でロープを手繰りながら登るほどであった。約1時間で、本日の最高地点に到達した。

ここから唐櫃越をなだらかに約20分下り、東ベンチ（標高280m）に至る。京都タワーが真正面に、その奥に比叡山や東山の峰々が望める。他のハイカーはおらず、我々7人でベンチとテーブルを独占して、ゆっくり弁当休憩ができた。あとは唐櫃越をひたすら下って、上桂駅に無事戻った。4時間10分、9Km、累積標高差383mの山行であった。

有志5名は、阪急桂駅前の大阪王将でビールと餃子で疲れを癒して散会した。

なお、計画書では林道の標記を「松尾林道」としていたが、実施報告書では正式名称の「松尾山林道」とした。

以上



⇐恐竜が京の街を見下ろしている？